

第5回 下小岩小学校・下小岩第二小学校 統合準備委員会 議事録 (要旨)

【日 時】

令和4年10月18日(火) 19時15分～19時45分

【場 所】

下小岩小学校 体育館

【内 容】

(1) 統合に係る諸課題について

本日の会では主に学用品と校歌について検討を進めていく。

(2) 校歌について

合同会議では10月31日までに意見を事務局で取りまとめることとした。

集約後、統合準備委員会の中で引き続き検討を進めていきたい。

(3) 学用品について

校帽と名札については、今年度の1年生から5年生に区から支給する方針。帽子の発注は既に完了しているので、来年の3月までに配布できるように準備している。詳細は、今後両校で検討を進めていく。

(4) 学校部会・PTA 部会について

現在PTAの会則について検討している。今後は、開催する行事を検討し、新年度の役員を選出したい。また、PTAに加入するかどうか、どのようなポジションで入るのかという意思確認や周知について検討している。

【意見交換内容】

- ・女子の水着には、セパレート型を追加してもらえればと思う。他の学校で提示した際にはほとんどの児童が買い替えていた。

⇒セパレート型に賛成である。

- ・子どもが成長したり、服が傷んだりしてすぐにでも購入したいが、変更があるから控えているという保護者の方がいらっしゃる。決定した事項については保護者に早期に周知していきたいと考えている。

- ・提案の内容は、名札は6色あり学年カラーに応じたものを着用するという事か。

また、名札の中に入れる紙は丈夫なものなのか。

⇒学年カラーの名札の提案についてはその通りである。(事務局)

⇒紙については、一般的な厚紙である。(事務局)

⇒色が分かれている方が学校はわかりやすいのか。

⇒通学路は3つの方面があり、各方面に分かれて帰る際に、児童も教諭も色でわかるので利便性が高い。転校してきた児童には、前の学校で使用していたものを使ってもらっているため、新しい物に買い替える際に合わせていけば良いと思う。

ただ、校帽は移動教室の際などに自校の児童であると認識できるため、統合時に合わせたいと思う。

⇒外に出た時に自校の児童であると認識できるように校帽の決定は必要だと思うが、校帽を決めれば、それ以外の物についても決める必要があるのかと思う。例えば通学の際はそれぞれ私服だが、体育の時だけ体育着を着て揃えるのはなぜか。学校教育上必要なことや、何か理由があるのか。

⇒学用品は学校で決めていただく内容であり、「こうしなければいけない」という基準はない。「同じもので揃っていた方が良い」という学校もあるが、「色があっていれば良い」という学校もある。今後は、例示を示して、この基準を満たしたものを用意してもらえれば良いという学校が増えていくと思われるが、揃っていた方が良いと考える方もいる。特に決まっていることではないので、学校で決めてもらえれば良い。(事務局)

⇒学校から学用品を案内する際に、例示する学用品は指定ではなく、基準に準拠した学用品の例示になるので、各家庭で判断して購入するように案内すれば良いと思う。自由度があるのだということ案内してほしい。

⇒案内の仕方は確かに大事である。例示をすることで必要以上に高価な品物を購入してしまうということも避けられる。

⇒今、変更を検討している学用品は、統合に向けて両校で検討している。今決めたものを使い続けなければならないということではなく、必要に応じて新しい教職員や保護者が決めていくことも大事だと思う。

⇒統合後の先生にも認識できるようにしてほしい。

- 男子の水着にもセパレート型を入れた方が良いのではないかと。ジェンダー平等や日焼けのことを考えると選ぶことができても良いと思う。

⇒頂いたご意見については、今後両校と検討させていただく。(事務局)

以上